

日 時 : 2012年5月5～6日

参 加 : 鳴原 (L)、尾崎、以倉、櫻井、山城、佐々木裕 (記)

私は、山菜山行初めてなので楽しみ！ 連休後半（5/5）、新大阪集合8時。

鳴原車、尾崎車2台で出発。 高速を乗り継いで途中食料を仕入れ（和田山のイオン）4時間程、わだちのきつい林道を辿り名色、蘇部岳麓着。

さっそく、荒れ放題の道に入り込み、山菜採り。 まず、コゴミを袋いっぱいゲット、続いて場所を変えタラノ芽を高切りバサミで採る（棘には注意！）。 リーダー曰く、今年は遅い時期の割には大量確保、雪が多かった事を意味するようだ。 山菜採りは、時期とタイミングが難しい！

納得いくまで摘んで場所変え、昼食後、名色元スキー場へ。 気持ちの良い空の下、ワラビ、少し開いたツクシなど土産に事欠かない。

明日の山を、来日岳（くるひだけ）とし、円山川を下って城崎へ約1時間、川沿いの釣り場（テント適地）へ移動。 豊岡、このあたりはコウノトリの繁殖で有名な地だ、そろそろ田植えが始まる広い田んぼにゆうゆうと飛ぶコウノトリを見つけることができる。

まだ陽のあるうちに、山菜のテンプラにありつく。 コゴミ、タラノ芽、何とか？アブラ、水に粉を溶いただけのころもだが、揚げたての山菜は甘みがあって美味しい！ 少し肌寒くなってきたところで、テント内に場所を代えて宴となるが満腹満足、知らぬ間に寝息を立てていたようである。 皆さん、お休みなさい。

翌日（5/6）曇り空の中、往復4時間程の来日岳に向かう。 昨日の予定では、車で来日岳林道を詰めた所がテント泊予定地でしたが、林道工事中のため急きょ場所変更していた。 おかげで今日は円山川と城崎温泉へのJR単線沿いの車道を歩いて、登山道に入る。 途中雨に見舞われる。

登り前半1時間ほどは急坂の連続、来日の地藏さんが40体近く続いて我々を励ましてくれる。 眺めの良い来日岳展望台で一服し、雨具を干す。 持ち上げてくれた果物が美味い。 すこし上の山頂（567m）にも、幾つかの地藏さんが出迎えてくれた。

雨に濡れた急坂を慎重に下り、テント場へ。 帰りは、城崎温泉の一番奥の鴻の湯で、ゆっくり体をほぐし帰阪。 連休の渋滞ピークは昨日だったか、さほどの渋滞に巻き込まれる事無く大阪着。 山菜の土産をいっぱい持って帰る事ができました、鳴原さん、尾崎さん運転ありがとうございました。